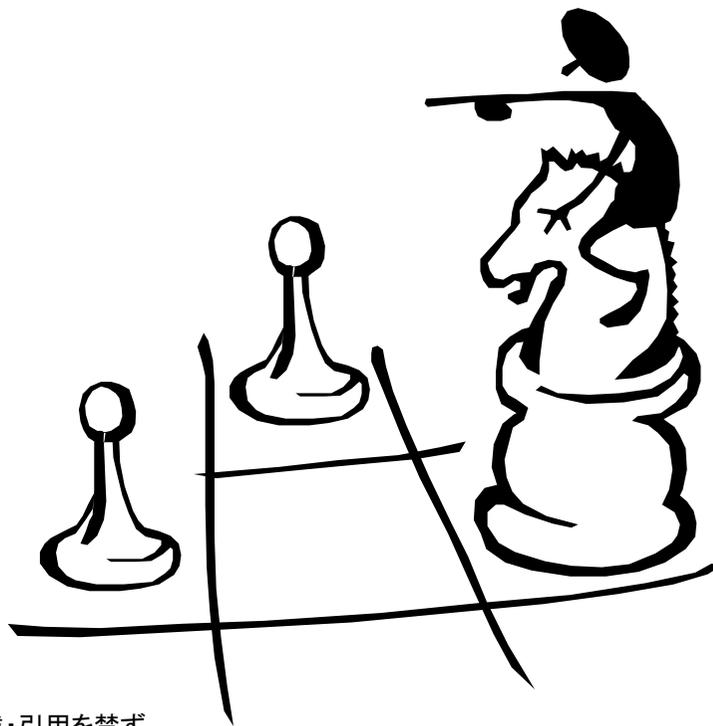


3. 我が国での取組の方向性



a. 政策評価のそもそも論

■ 評価に取り組むインセンティブ ～OECD業績・成果に関する予算担当官会議

- ①意思決定（資源の増加）、②改善（柔軟性確保）、③アカウンタビリティ（国民認知）。
- 政策評価法上の目的
 - a) 国民に対する行政の説明責任（アカウンタビリティ）を徹底
 - b) 国民本位の効率的で質の高い行政を実現
 - c) 国民的視点に立った成果重視の行政への転換を図る
- 我が国の政策評価で、これまでに達成できているのは？

■ 評価は役に立っているか？

- クライアントは誰なのか<Utilization-focused>
- ①あれかこれかを判断 <Summative>
- ②業績改善余地の発見 <Formative>
- ③知らしむこと（実は、由らしむべからず？）

区分	代表的な手法	原課にとってのインセンティブ
資源配分等の「意思決定」	予算の大枠設定における業績情報の活用、業績予算（業績に応じた予算調整、予算書の構成の見直し 等） / 等	資源の増加
プログラム・業績の「改善」	業績予算（投入、アウトプット、成果の関連性可視化、フルコストの明示等）、業績給与、格付け評価、インセンティブ予算、予算執行権限の柔軟化と責任明確化、幹部への定期的な業績情報の報告、パフォーマンス改善担当者の設置及び会合等の開催 / 等	執行等における柔軟性確保
議会・国民への「アカウンタビリティ」	議会向けの業績報告の実施・充実、市民・国民向けの予算書（業績予算）作成及び事前説明、格付け評価 / 等	国民等からの認知

原課	政治	省幹部	査定	国民
	○	○	○	
○		○	○	
○				○

• 政権交代後、政治主導の名の下で行われようとしているそれぞれの評価・レビューの重点はここにある。あれかこれかを判断する上で、各省レベルでの評価を前提としつつ、そこから**政府レベル・省庁横断的な観点で『優先順位付け』**を行う必要。

- 英国PSA = 内閣が重要視する政策目標を提示
- 米国HPPG = 各省・各局に高優先順位の施策を出させる

b. 政策評価でやるべきこと・足りないこと・どうするか

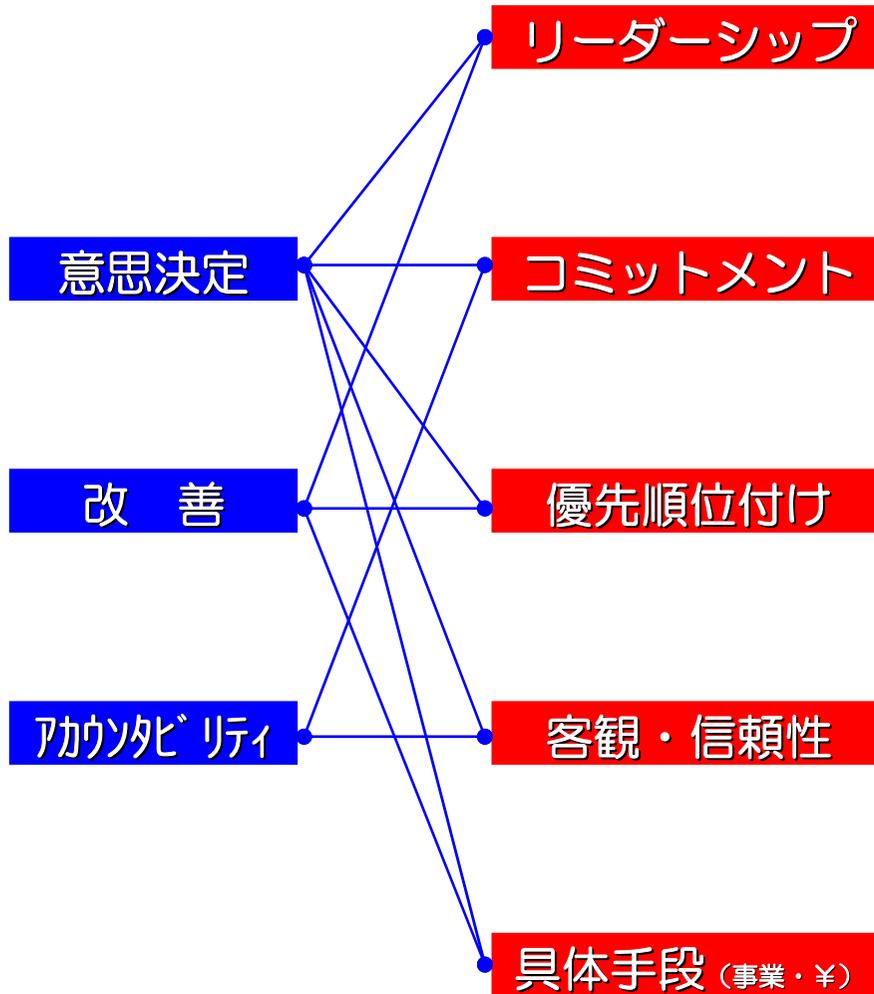
やるべきこと



足りないこと



どうするか



計画・目標設定

- 政による目標・指標・目標値の設定
- 政によるコミットメント
- ニギリ（内閣・財務省＝大臣間 and/or 政＝官間）
- 目標・指標は、少数・アウトカム・洗練
- 上位目標－現場・手段へのカスケード

評価・モニタリング

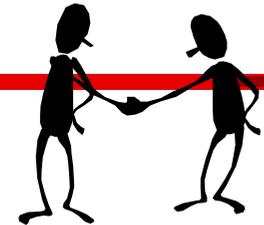
- 一覧性、比較可能性、競争性を担保
- 時系列でのトレース
- 客観・信頼性担保具体施策情報、コスト情報とのリンク

判断

- 評価と予算は「緩やかな相関」 ≠直リンク
- 政治の判断、現場の判断
- マクロ判断（戦略室）、ミクロ判断（行副会議）

舞台装置

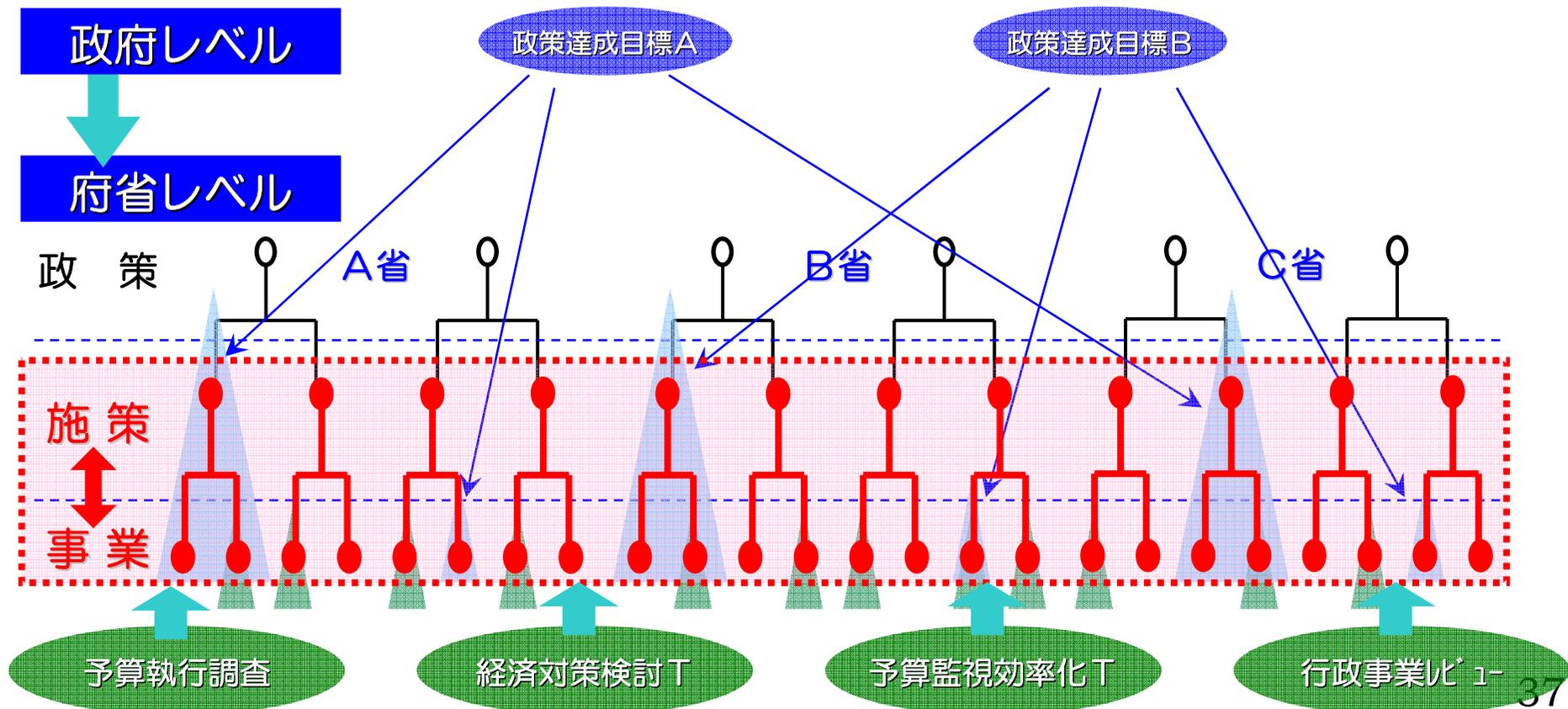
- 制度の企画立案
- 第三者評価機能 + 支援者機能
- 情報・データの信頼性を確保する機能



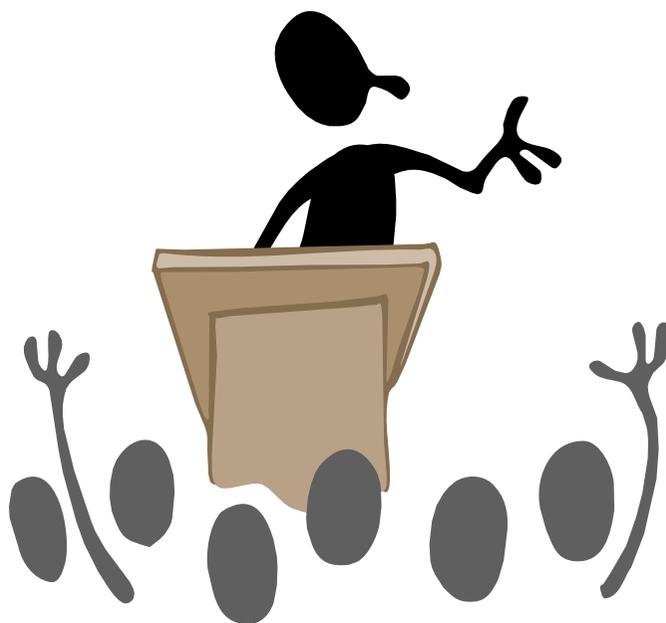
c. これからの政策評価【私案】

- 現行の“施策単位で府省の仕事をつなぐ”する形は、『**組織マネジメント**』の観点から重要。
- さらに、施策 - 事業の体系を、予算事業にとどまらない（規制・税制措置等の他の政策手段もカバーする）形で構築、目標設定・モニタリングを推奨することにより、他の評価・レビューのベースとなる『**台帳・インフラ**』的位置づけになることも期待される。

→政府レベル・省庁横断的な観点からの優先順位付けに供するような形に



質 疑



公共経営・地域政策部 主任研究員

高崎 正有（たかさき・まさみち）

電話：03-6711-1242 FAX：03-6711-1290

E-mail：takasaki@murc.jp

【略 歴】

- ・ 1974年生。97年京都大学総合人間学部卒業（社会システム論）。2007年筑波大学大学院ビジネス科学研究科修了（経営学）。97年4月より三和総合研究所（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）勤務。中央府省・地方自治体・独立行政法人等における公共経営（評価・マネジメント）に関する調査研究、コンサルティング業務に従事。
- ・ 2003年3月から2005年2月の2年間、総務省行政評価局に任期付任用職員として勤務。政策評価制度の検討、政策評価実務、局内職員研修を担当。

【著書・論文等】

“新政権での政策評価の行方～形成的・総括的機能” （2009年12月）

http://www.murc.jp/politics_c1/search_now/2009/12/sn_091202.html

“行政刷新会議の政策見直しの可能性～カナダの教訓” （2009年8月）

http://www.murc.jp/politics_c1/search_now/2009/08/sn_090810_2.html

“省庁版「組織は戦略に従う」「戦略は組織に従う」” （2008年11月）

http://www.murc.jp/politics_c1/search_now/2008/11/sn_081104.html